

## 杭工事データ流用に係る事案の検証について

事案の概要	経緯	課題	再発防止に向けて
<p>① 釧路市道営住宅 (愛国団地 D10 号棟)</p> <p>工期：H22.7~H23.8 規模等：RC 造 5 階建て 38 戸 杭 31 本のうち 1 本を隣接 工事のデータを流用</p>	<p>杭工事下請業者の関わり</p> <p>① 下請の旭化成建材が電流計データの取得に失敗した。 原因として、スイッチの入れ忘れ、紛失などが考えられる。</p> <p>――担当者(旭化成建材)は電流計データ流用が習慣化し、罪悪感もなく、原因を記憶していないため、旭化成建材としても、個別の原因は把握していない。</p> <p>――電流計データを紛失した場合、現場には言い出せない風土があった。</p> <p>② 旭化成建材が、施工報告書を作成する際に、他の杭の電流計データを流用した。</p>	<p>① 電流計データの取得に関して、現場管理の緩みが生じている。</p> <p>② 電流計データの取得について、複数によるチェックを行っていない。</p> <p>③ 元請と作成する施工計画書に電流計データの取得について、確認・点検方法を記載していない。</p> <p>④ 電流計データの取得に失敗した場合の対応が決まっていない。</p>	<p>再発防止に向けて</p> <p>杭工事下請業者の役割</p> <p>杭工事下請業者に対し、電流計データを確実に取得できる対策を求める。</p>
<p>② 釧路市道営住宅 (ことぶき団地 C-2)</p> <p>工期：H18.10~19.12 規模等：RC 造 8 階建て 119 戸 杭 22 本のうち 2 本の データが同一</p>	<p>元請建設業者の関わり</p> <p>① 現場で電流計データの取得を確認していなかった。</p> <p>――旭化成建材の担当者がデータ原本を管理し、元請は、杭工事完了後 1 ヶ月後に施工報告書でコピーを確認していた。データの原本は、倉庫等に置いておき、適宜、破棄していた。</p>	<p>① 元請、下請の責任と役割を明確にしていない。</p> <p>② 下請の電流計データの取得についての確認・点検方法を確認していない。</p> <p>③ 電流計データ取得に失敗した場合の対応を決定していない。</p>	<p>元請建設業者の役割</p> <p>元請建設業者に対し、施工確認の強化を求める。</p>
<p>③ 北海道新篠津高等養護学校</p> <p>工期：H20.6~21.3 規模等：RC 造 2 階建て 7 科 杭 60 本のうち 3 本の データが同一</p>	<p>発注者の関わり</p> <p>① 工事監督員は、標準仕様書に基づき、本杭の工事に立会していなかった。</p> <p>② 工事監督員及び工事検査員は、電流計データ流用を前提とした確認を行っていなかった。</p>	<p>① 杭施工日ごとの速やかな施工確認が行われていない。</p> <p>② 電流計データの管理体制を確認していない。</p> <p>③ 電流計データの原本を確認していない。</p>	<p>発注者の役割</p> <p>契約の適正な履行を確保するため、必要な監督又は検査を行う。</p>
<p>④ 北海道名寄高等学校校舎棟</p> <p>工期：H16.7~H17.6 規模等：RC 造 3 階建て 471 名 杭 41 本のうち 2 本の データが同一</p>			
<p>⑤ 紋別市道営住宅 (であえーる幸団地 2)</p> <p>工期：H20.7~H21.9 規模等：RC 造 5 階建て 39 戸 杭 90 本のうち 2 本のデータが同一なもの 2 組</p>			
<p>⑥ 岩見沢市栗部地区 31 工区用水路</p> <p>工期：H22.9~H23.1</p> <p>杭 40 本のうち 3 本のデータが同一なもの 1 組、2 本のデータが同一なもの 1 組</p>			
<p>⑦ 北海道警察総合訓練場</p> <p>道警本部において、安全性を確認。</p>			